

サトイモ科

# キシダマムシグサ

*Arisaema kishidae* Makino ex Nakai

兵庫県ランク… C

環境省ランク… -

## ■ 県内分布

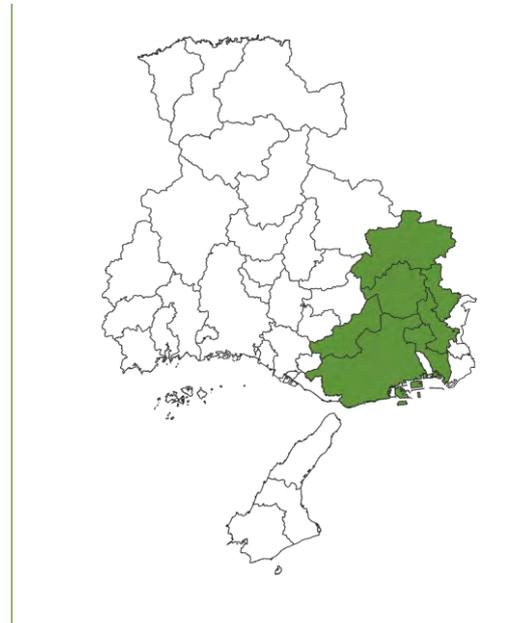
神戸市、西宮市、宝塚市、三田市、猪名川町、三木市、丹波篠山市

## ■ 国内分布

本州(愛知県から兵庫県)

## ■ 選定理由

人為性	特殊性	学術性	
生育環境破壊	特殊生育環境	特殊な分布	
観賞用等採取	特異な生態	分布の限界	○
		希少	○



## ■ 特記事項

分布の西限。ムロウマムシグサとも呼ばれる。2020年版でムロウマムシグサから種名を変更した。



写真提供:松岡成久

## ■ 保護上の留意点

-

## ■ 種の概要

低山地の林下に生える。葉は(1-)2個で、5-7(-9)枚の小葉を鳥足状につける。頂小葉は倒卵形または長楕円形で、鋭尖頭、長さ5.5-25cm、全縁あるいは鋸歯があり、しばしば中脈に沿って白斑がある。花柄は長さ4-9cm。仏炎苞は汚紫褐色。苞部は卵形、先はしだいに細まって糸状に伸び、筒部の2倍以上の長さになる。花期は4-5月。付属体は棒状または根棒状で先端はやや太まり、濃紫色あるいは紫褐色。